

20周年にあたり

代表理事 中村 恵美子

2004年にあすかユーアイネットが設立され、今年で20年を迎えることとなりました。これもひとえに会員の皆さまのご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。設立当初は高齢者のサポートとして、ふれあい活動と介護保険事業が主な活動でしたが、近隣の方が障害を持ちその相談を受けたことがきっかけとなり障害福祉サービス事業も加わることになりました。その後も難病を持つ方との出会い、喀痰吸引等の医療ケアができれば難病があってもご自宅で暮らせることを知り喀痰吸引事業所の指定を取得しました。そこから長時間のサポートが必要な方、視覚に障害のある方の外出のサポート、心や精神、行動に障害のある方からの相談を受け、高齢者と障害者（児）の生活を支えるための事業展開となりました。

昨年2023年に旅立たれた創始者の宇井さんご夫妻と初代監事の夏目さんに私が出会ったのは2005年（19年前）です。私が力不足で悩んでいる際、元建築士であった宇井さんが城壁を例えた話をしてくださいました。城壁は小さな粒から大きな岩まで様々な形が隙間なく積み重なっているから頑丈である。同じ形の岩ばかり集めても不思議と上手くいかない。組織もいろいろな人が、いろいろな形で支え合っていくと上手くいく。小さな粒も役割と意味があるのだと教えてもらい私の今につながっています。夏目さんは「あすかの皆さんの介護は神様のような」と、満面の笑みと詩吟を奏でるかの透き通った声でいつも褒めてくださいました。人とのつながりに神様を感じることは確かにあり、私はみんなが笑顔になることが何よりの幸せです。懐かしく温かく力強い言葉を心に、住み慣れた地域で暮らすことができるよう地域福祉と福祉の向上を目指して活動をして参りたいと思っております。今後とも、何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度、6年度の研修、イベント等々

🌻 龍ヶ崎ニュータウン夏祭り 2023、2024 出店しました 🌻



調理実習 災害時でも調理ができる



入浴介助



草刈り気を寄付して頂き、早速草刈り



会報

あすか



23号

2024年10月吉日

NPO（特定非営利活動）法人 あすかユーアイネット

〒301-0043 龍ヶ崎市松葉3丁目12番地2

事務所（龍ヶ崎）電話：0297-60-8281 F A X：0297-60-8288

連絡所（牛久）電話：029-830-8307 F A X：029-830-8308

（各事業直通）

・訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業（あすか）

・障害者福祉サービス事業（あすか）

電話（龍）0297-60-8282 （牛）029-874-0477

・相談支援事業（あすか）

電話（龍）0297-85-2339 （牛）029-874-0477

<https://www.asuka-npo.or.jp>（編集責任者：中村 恵美子）

NPO 法人あすかユーアイネット設立20周年

あすかユーアイネット20年のあゆみ

2003年11月 賛同者18名であすかユーアイネットの設立総会を開催

2004年2月 特定非営利活動法人の認証を受け、法人として設立

2004年10月 介護保険事業所あすか開業

2005年4月 通所介護事業所「明日花の家 らくてい」開始

居宅介護支援事業所「あすか居宅介護支援事業所」開始（休止中）

2009年8月 指定障害福祉サービス（居宅介護・重度訪問介護）あすか開始

2012年4月 登録喀痰吸引事業者登録

2012年9月 指定障害福祉サービス（同行援護・行動援護）あすか開始

2014年4月 指定特定相談支援事業所「あすか相談支援事業所」開始

2018年4月 日常生活支援・総合事業あすか開始



令和6年度通常総会開催

去る6月22日（日）、龍ヶ崎市松葉当法人事務所1階にて第21回通常総会が開催されました。

令和5年度決算、令和6年度予算、役員が承認されました。

会長理事には昨年千葉真理子が就任いたしました。

就任中の役員は、代表理事・中村恵美子・副代表理事・伊藤きり子、理事・加瀬柊夫、池田尚人、

千葉真理子、鈴木睦子、武藤成江、監事・山端忠美の8名です。

～事務局より～

令和6年度の年会費の納入をお願いします。

あすかユーアイネットの決算報告 令和4年度、5年度

貸借対照表 令和5年3月31日現在 (千円)			
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	168	未払金	3,272
普通預金	6,194	未払い法人税等	72
郵便貯金	871	預り金	427
郵便振替口座	600	短期借入金	1,010
未収金	6,556	流動負債合計	4,781
前払費用	0	固定負債合計	0
仮払金	21	負債合計	4,781
流動資産合計	14,410		
固定資産		正味財産の部	
車両運搬具	1,080	正味財産期首残高	7,939
什器備品	322	当期正味財産増減額	1,719
減価償却累計	-1,373	正味財産合計	9,658
固定資産合計	29		
資産合計	14,439	負債及正味財産合計	14,439

貸借対照表 令和6年3月31日現在 (千円)			
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	92	未払い金	3,272
普通預金	7,852	未払い法人税等	72
郵便貯金	503	預り金	627
郵便振替口座	2,066	短期借入金	0
未収金	6,838	仮受金	12
前払費用	0	流動負債合計	4,006
仮払金	11	固定負債合計	0
流動資産合計	17,362	負債合計	4,006
固定資産		正味財産の部	
車両運搬具	1,080	正味財産期首残高	9,658
什器備品	322	当期正味財産増減額	3,696
減価償却累計	-1,402	正味財産合計	13,355
固定資産合計	29		
資産合計	17,362	負債及び正味財産合	17,362

令和4年度 活動計算書 (R5.4.1~R6.3.31)				
科目	備考	金額 (千円)		
1. 収入				
受取会費		85		
ふれあい活動		772		
特別支援教育支援	市受託事業	8,488		
介護保険訪問介護	あすか	16,209		
移動支援事業	あすか	906		
障がい福祉サービス事業	あすか	19,085		
相談支援・障がい児相談	あすか	2,916		
介護予防・日常生活支援総合事業	あすか	1,690		
介護ショップ		8		
ボランティア受入評価益	ボランティア	1,500		
受取補助金、寄付金他		210		
収入合計		51,869		
2. 支出(管理費含む)				
給料手当・雑給		40,269		
法定福利・福利厚生費		3,316		
ボランティア評価費用	ボランティア	1,500		
通信運搬費・印刷製本費		1,504		
広告宣伝費・支払手数料		917		
事務用品費・消耗品費		375		
燃料費・車両費他	ガソリン代他	432		
水道光熱費・支払地代他		826		
保険料・諸会費その他		741		
法人・住民・事業税		72		
管理費		198		
支出合計		50,150		
収支差額(次期活動費)				1,719

令和5年度 活動計算書 (R5.4.1~R6.3.31)				
科目	備考	金額 (千円)		
1. 収入				
受取会費		31		
ふれあい活動		577		
特別支援教育支援	市受託事業	8,387		
介護保険訪問介護	あすか	12,162		
移動支援事業	あすか	916		
障がい福祉サービス事業	あすか	23,376		
相談支援・障がい児相談	あすか	2,756		
介護予防・日常生活支援総合事業	あすか	975		
介護ショップ		14		
ボランティア受入評価益	ボランティア	1,500		
受取補助金、寄付金他		740		
収入合計		51,434		
2. 支出(管理費含む)				
給料手当・雑給		37,915		
法定福利・福利厚生費		3,201		
ボランティア評価費用	ボランティア	1,500		
通信運搬費・印刷製本費		1,304		
広告宣伝費・支払手数料		915		
事務用品費・消耗品費		279		
燃料費・車両費他	ガソリン代他	348		
水道光熱費・支払地代他		744		
保険料・諸会費その他		1,296		
法人・住民・事業税		72		
管理費		163		
支出合計		47,738		
収支差額(次期活動費)				3,696

あすかへの感謝を込めて

千葉真理子

私は、あすかの創設者で元代表だった宇井良夫の娘です。あすかのスタッフや会員の皆様には、本当にお世話になり、また親しくお付き合いいただき、ふたりの人生を豊かに彩っていただきましたことを心より感謝申し上げます。

昨年、父は5月に、母は12月に、どちらも仲良く87年と4ヶ月の生涯を終えました。生前のご厚情への感謝の意をお伝えするとともに、娘の目から見たふたりの人生を懐かしく振り返ってみたい、この場をお借りします。

父と母は、それぞれ昭和10年と11年に、千葉県香取市（現在）で、どちらも農家の末から2番目の子として生を受けました。ふたりの出会いは高校時代、父は学校で一番数学に強くてリーダーシップがあり、母は学校で一番漢字テストができて美人だったそうです（本人らの言のため検証不可）。

20代後半、東京の四畳半アパートで新婚生活を始めたふたりの元に私が生まれ、三人家族の歴史が始まりました。大きな建築物が好きだった父は、戸田建設で一級建築士として働き、ロッテ埼玉工場、成田ホリディンホテル、つくばセンタービル、茨城県立美術館などの現場で責任者を務めました。転勤による引っ越しも多く、父は単身赴任も多かったです。母は、ヤマハやポーラで天職と言えるセールスマンとしてバリバリ働き、その話術と行動力で売り上げナンバーワンの名を欲しいままにしていました。某生命保険会社の人が、母を引き抜きたくて、カルピスを手土産に日参していたことを子供心に覚えています。ひとりっ子の私はいえ、仕事に情熱を燃やす両親の元、かぎっ子のメリットをフルに活かして暗くなるまで野山で遊び、木登りやかけっこは誰にも負けないたくましい子でした。

そんな私が、大学を卒業した翌年に慌ただしく結婚・出産をし、親子三代同居生活が始まったのは、両親がまだ50代前半のとき。父が60歳で退職する頃には、孫は3人になり、仕事ひとすじだった父も、この頃には家事や育児を手伝ったり、趣味の尺八や三味線に精を出したりしていました。

孫の成長を見守りながら、父はいつしか、介護の世界に飛び込んでいました。「あすかユーアイネット」を立ち上げたのは67歳の頃。自分で設計して建てた自宅「らくてい」の2階が事務所となり、やがて増築して外階段も付きました。研修会やお祭りなどの行事をこなしたり、夜遅くまでパソコンに向かって、やりがいのある仕事に邁進する父の姿や、栄養士の資格を活かしてデイの献立を考えたり、なんだかんだと奮闘する母の姿を思い出します。

あすかのスタッフとの家族のような温かい関係があったからこそ、両親の晩年は幸せだったと思います。私は、週末に訪問して外食や買い物に連れ出したり、孫達との温泉旅行を企画したりはしたけれど、そんな時間をととても喜んでくれたけれど、日々の生きがいを与えてくれたのはあすかでした。

やがて80代も半ばになったふたりの在宅生活を支えてくれたのもあすかでした。どうサポートするか考えてくれ、ケアマネさんとも相談して、手厚い介護をしてくださいました。父にとって、一緒に介護事業を頑張った仲間から介護されることは、最初は複雑だったかもしれませんが、でも、家族同様に見守ってもらえたことは、本当に嬉しかったと思います。2022年の大晦日の入院を最後に、らくていには戻れませんでした。その前日、トイレへ歩くにも椅子を歩行器がわりにするほど足腰の弱っていた父が、自力で2階に昇ってきたと聞きました。感謝を伝えなかったのだろうと思います。その2週間前から入院していた母も、入院とショートステイを繰り返し、遂にらくていに戻ることはできませんでした。ふたりは、わずか2週間違いで、思い出いっぱいらくていを去りました。

今頃、ふたり仲良く天国からこちらを見守っているはず。これまで本当にありがとう！と叫んでいるはず。そしてこれからも、両親が大切に育てた「あすか」が、明日に向かって大きな花を咲かせられるよう、私も微力ながらお手伝いできればと思っています。

